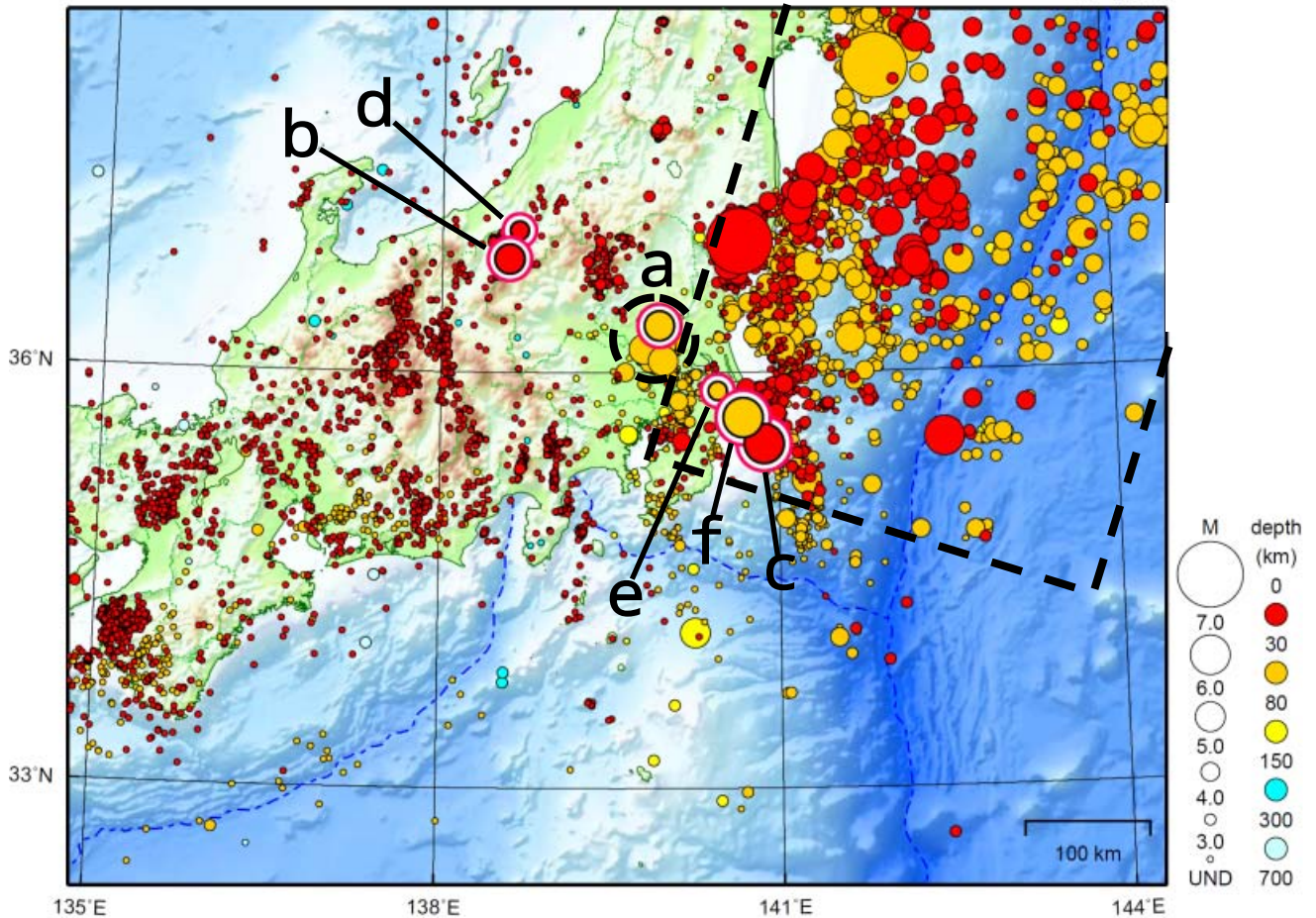


関東・中部地方

2011/04/01 00:00 ~ 2011/04/30 24:00

N=13758



矩形は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域

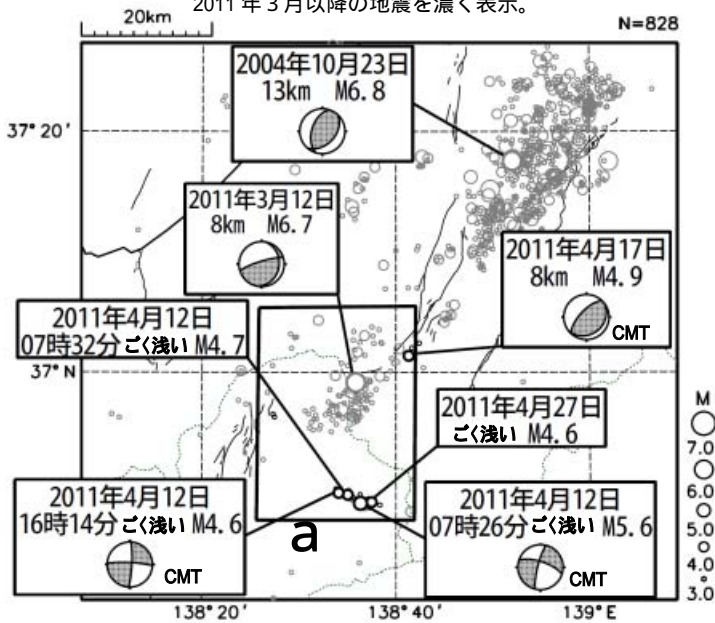
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- a) 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、茨城県南部でまとまった地震活動が見られている。4 月中は、2 日に M5.0 の地震（最大震度 5 弱）、16 日に M5.9 の地震（最大震度 5 強）などが発生した。
- b) 4 月 12 日に長野県北部で M5.6 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震の最大余震は同日に発生した M4.7 の地震（最大震度 3）であった。
- c) 4 月 12 日に千葉県東方沖で M6.4 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
- d) 4 月 17 日に長野県・新潟県県境付近で M4.9 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
気象庁はこの地震に対して（新潟県中越地方）で情報発表した
- e) 4 月 17 日に千葉県北東部で M4.5 の地震（最大震度 3）と M4.6 の地震（最大震度 3）が発生した。
- f) 4 月 21 日に千葉県東方沖で M6.0 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

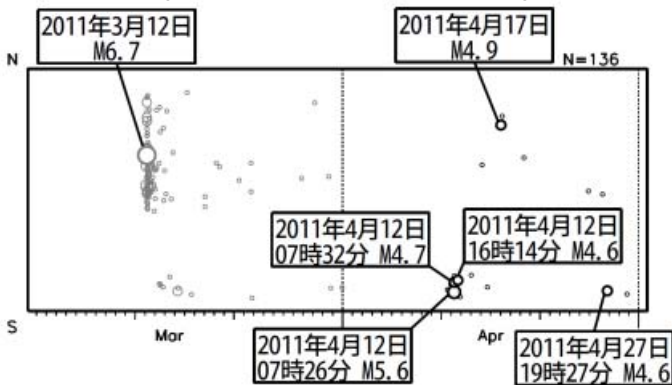
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

4月12日、27日 長野県北部の地震・17日 新潟県中越地方の地震

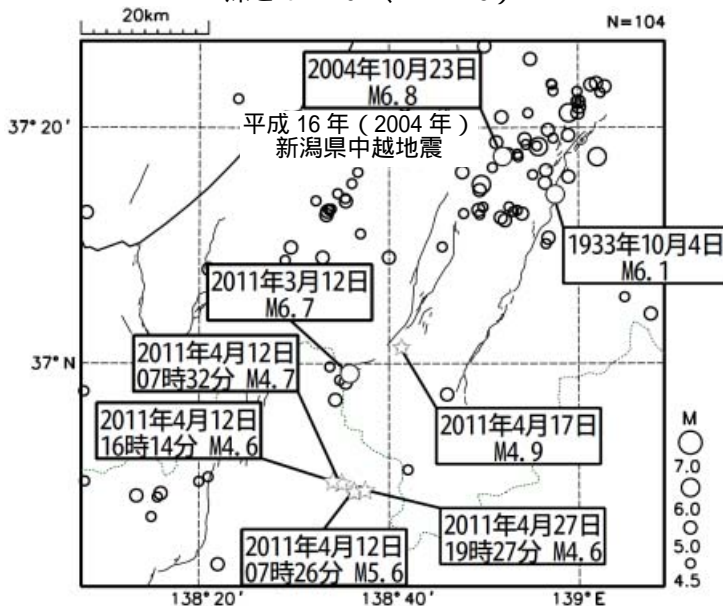
震央分布図 (1997年10月1日～2011年4月30日、
深さ0～20km、M 3.0)
2011年3月以降の地震を濃く表示。



領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)
(2011年3月1日～4月30日)



震央分布図 (1923年8月1日～2011年4月30日、
深さ0～20km、M 4.5)

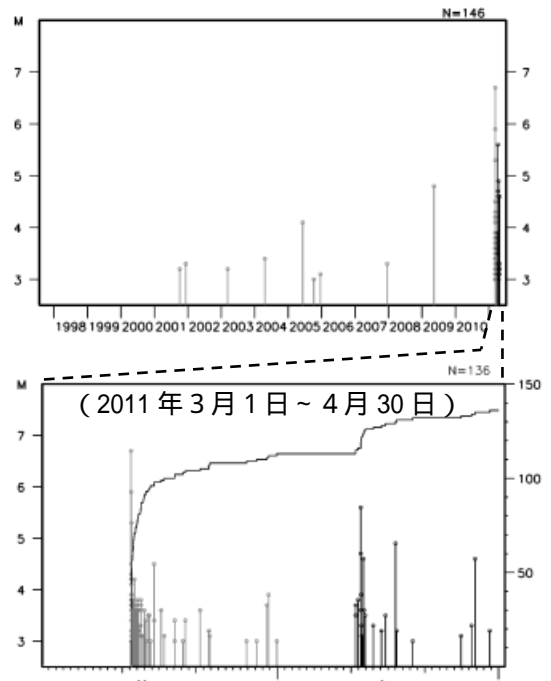


2011年4月12日07時26分に長野県北部のごく浅いところでM5.6の地震(最大震度5弱)の地震を含むまとまった地震活動があった。これらの地震は地殻内で発生した地震である。M5.6の地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型(CMT解)であった。この地震の震央付近では、他にM4を超える地震が12日07時32分、同日16時14分、27日19時27分に発生している。

また、2011年4月17日00時56分に新潟県中越地方の深さ8kmでM4.9の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(CMT解)の地震であった。

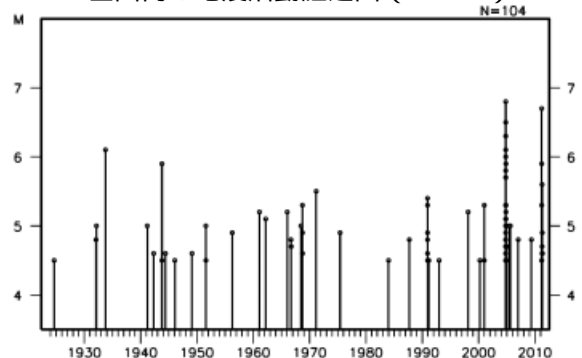
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2011年3月12日のM6.7の地震が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



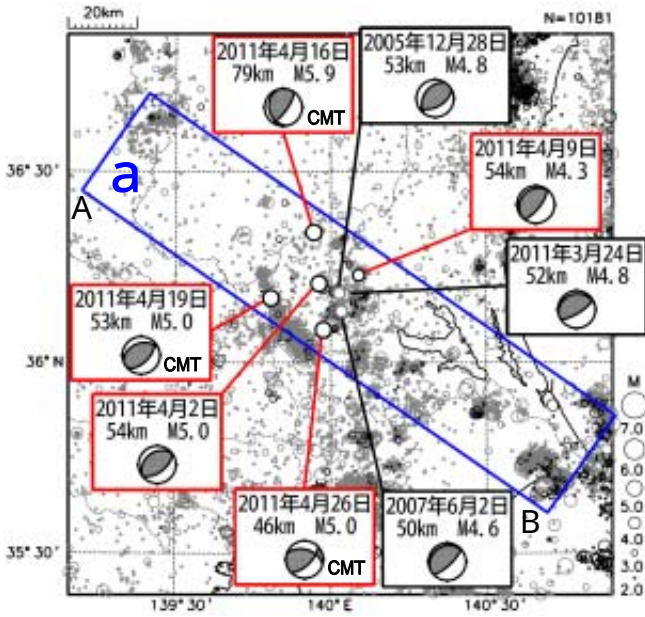
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、2004年10月23日に「平成16年(2004年)新潟県中越地震」(M6.8、最大震度7)が発生している。

左図内の地震活動経過図 (M 4.5)

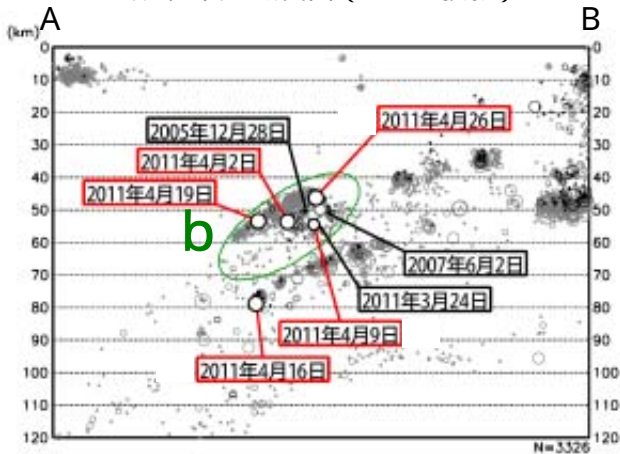


2011年4月の茨城県南部の地震活動

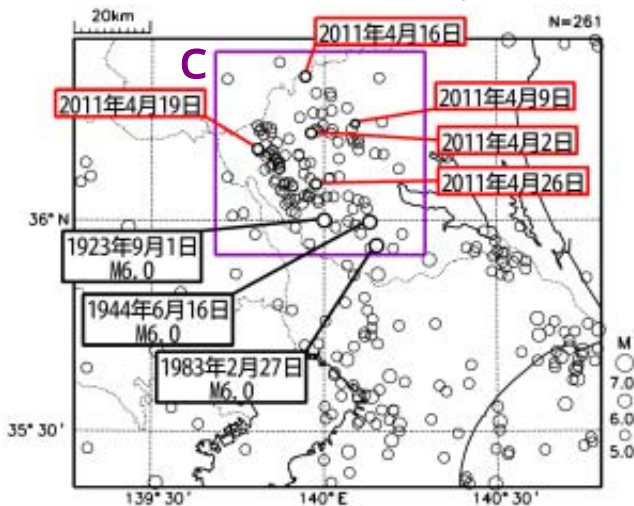
震央分布図（1997年10月1日～2011年4月30日、
深さ0～120km、M 2.0）
2011年4月以降の地震を濃く表示



領域a内の断面図（A - B投影）



震央分布図（1923年8月1日～2011年4月30日、
深さ0～120km、M 5.0）

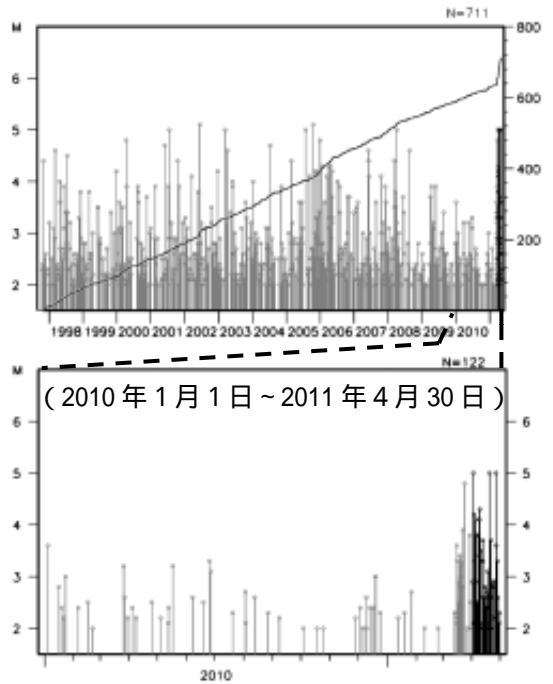


印は今回の地震の震央位置

2011年4月2日16時55分に茨城県南部の深さ54kmでM5.0の地震（最大震度5弱）が発生した（ ）。この地震の発震機構は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この地震の震源付近では、9日17時02分、19日23時10分、26日21時12分にも最大震度4の地震が発生した。また、4月16日11時19分に茨城県南部の深さ79kmでM5.9の地震（最大震度5強）が発生した（ ）。この地震の発震機構解は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（CMT解）である。この地震で、負傷者6名の被害があった（総務省消防庁による）。

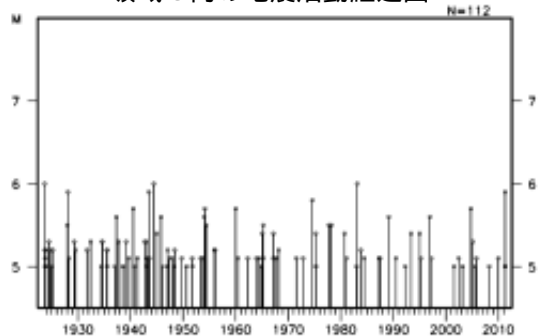
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M5.0程度の地震が時々発生している。

領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



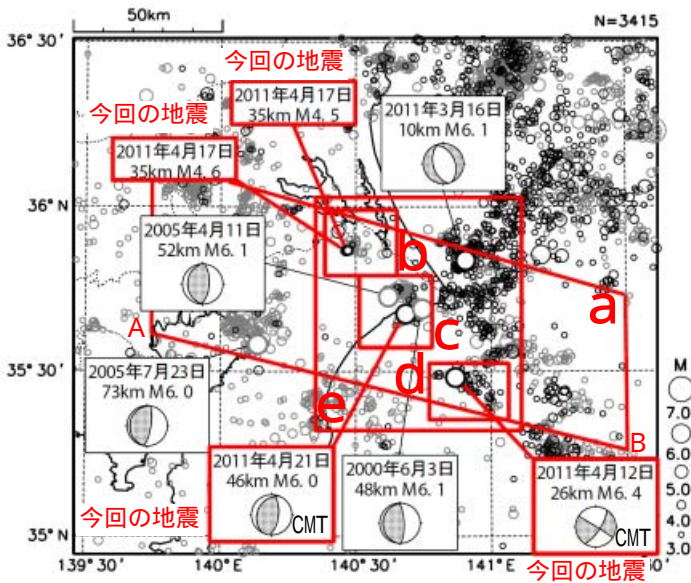
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0の地震が3回発生している。そのうち、1983年2月27日に発生した地震（最大震度4）では、負傷者11人などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域c内の地震活動経過図



4月の千葉県東方沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日～2011年4月30日、
深さ0～100km、M 3.0)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示。



2011年4月12日08時08分に千葉県東方沖の深さ26kmでM6.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT)は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

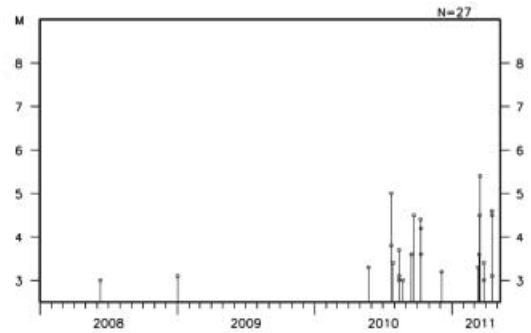
また、2011年4月17日13時38分に千葉県北東部の深さ35kmでM4.5の地震(最大震度3)が、同日15時49分に千葉県北東部の深さ35kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。

また、2011年4月21日22時37分に千葉県東方沖の深さ46kmでM6.0の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

4月12日の地震はフィリピン海プレート内部で発生したものである。4月21日の地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生したものである。また、なお、いずれの地震についても、余震は徐々に少なくなっている。

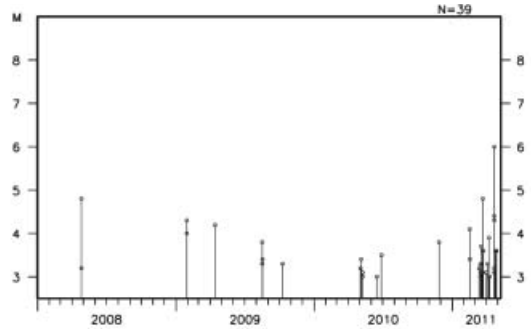
領域b内の地震活動経過図

(2008年1月1日～4月30日、深さ0～100km、M 3.0)



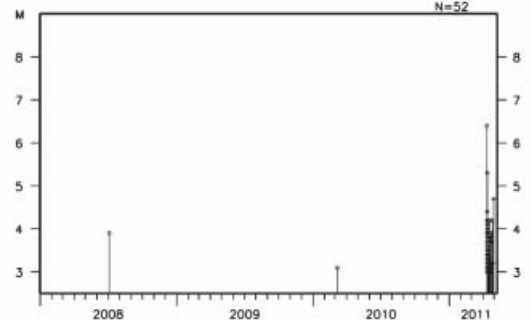
領域c内の地震活動経過図

(2008年1月1日～4月30日、深さ0～100km、M 3.0)

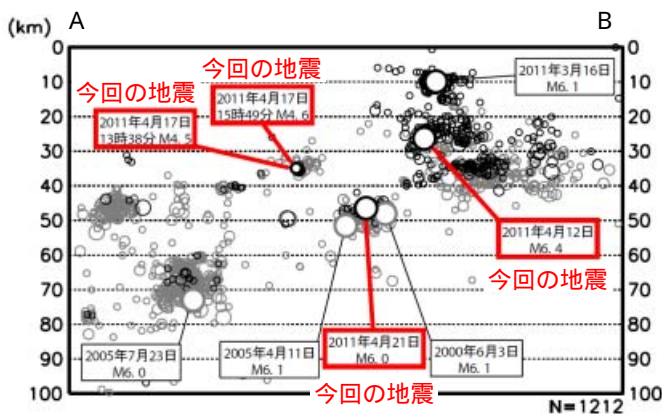


領域d内の地震活動経過図

(2008年1月1日～4月30日、深さ0～100km、M 3.0)



領域a内の断面図 (A - B 投影)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域e)では、M6.0前後の地震が時々発生している。

領域e内の地震活動経過図

(1923年8月1日～2011年4月30日、
深さ0～100km、M 5.0)

